

(ノ左側面より続く)

※4) 溶液の状態では長時間皮膚と接触させた場合に皮膚化学熱傷を起こしたとの報告があるので、注意すること。

5. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与により、ショック症状を起こした患者のうち、数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

【薬効薬理】

1. 本剤は使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、結核菌、真菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞（炭疽菌、破傷風菌等）及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。
2. ステリクロンハンドローション0.5%は *in vitro* の試験において、グラム陽性菌、グラム陰性菌及び真菌を15秒以内に殺菌した。また、非定型抗酸菌 *Mycobacterium fortuitum* は15秒以内に、*M. terrae*、*M. chelonae* は30秒以内に殺菌した。

【取扱上の注意】

《注意》

- (1) 本剤は引火性、爆発性があるため、火気には十分注意すること。
- (2) 本剤の付着した白布を直接、次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系漂白剤で漂白すると、褐色のシミを生じることがあるので、漂白剤としては過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。
- (3) 開封時、容器の肩部又は底部をもち、液がとびださないように、キャップを開けること。

《貯法》 気密容器。遮光して、火気を避けて室温保存。

㊞登録商標

キャップ：PP
ボトル：PE
ポンプ：PP, 金属

バックン：PE, PP
ラベル：PE
ポンプ袋：PE

折り目

0.5

開封日

年 月 日

とりかえの目安

年 月 日

速乾性すり込み式手指消毒剤

ステリクロン® ハンドローション0.5%

アルコール類＊水溶性＊危険等級Ⅱ

STERICLON®
HAND LOTION 0.5%

火気厳禁



健栄製薬株式会社
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
電話番号 06(6231)5626

500mL

折り目

※※2017年10月改訂(第4版)

※ 2016年6月改訂

日本標準商品分類番号 872619

承認番号 (18AM)10195

薬価収載 薬価基準対象外

販売開始 2007年2月

再評価結果 1992年6月

ステリクロン®ハンドローション0.5%

※※【禁忌(次の場合には使用しないこと)】

- (1) クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者
- (2) 臍、膀胱、口腔等の粘膜面【クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状の発現が報告されている。】
- (3) 損傷皮膚及び粘膜【エタノール含有液なので、損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用がある。】

【組成・性状】

《組成》 100mL 中
クロルヘキシジングルコン酸塩0.5g含有(0.5w/v%)。
添加物としてエタノール、尿素、グリセリン、トコフェロール酢酸エステル、アラントインを含有する。
《性状》

エタノール(日局エタノール 83 vol%)を含有し、速乾性を有する無色～微黄色澄明の液である。
比重 d_{20}^{20} : 約0.86

【効能・効果】

手指の消毒

【用法・用量】

本剤をそのまま用いる。
《用法・用量に関連する使用上の注意》
手指の消毒における使用濃度は、クロルヘキシジングルコン酸塩として0.1～0.5%であり、本剤は0.5%であるので、そのまま用いる。

〈調剤包装単位用コード〉



0111111101111

〈販売包装単位用コード〉



0111111101111

※※【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の場合には慎重に使用すること)
 - (1) 薬物過敏症の既往歴のある者
 - (2) 喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者
2. 重要な基本的注意
 - ※(1) ショック、アナフィラキシー等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
 - (2) 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
 - (3) 眼に入らないように注意すること。
眼に入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
- ※(1) 重大な副作用

ショック(頻度不明)、アナフィラキシー(頻度不明): ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので観察を十分に行い、血圧低下、蕁麻疹、呼吸困難等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
- (2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症注1)	発疹・発赤・蕁麻疹等
皮膚注2)	刺激症状

注1) このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、再使用しないこと。
注2) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

4. 適用上の注意
 - (1) 投与経路: 手指消毒以外の目的には使用しないこと。
 - (2) 使用時:
 - 1) 反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので、注意すること。
 - 2) 血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分に洗い落してから使用すること。
 - 3) 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落してから使用すること。

(右側面へ続くノ)